申入れ（全労働兵庫支部）議事概要（令和５年６月 26 日）

兵庫労働局長（当局）は、令和５年６月 26 日（月）に、全労働兵庫支部執行委員長（全労働兵庫支部）から、「2023 年全労働夏季統一要求書」等にかかる申入れを受け、その対応を行った。

この申入れの概要は、次のとおりである。

（全労働兵庫支部）

2023 年度の定員査定（地方労働行政）について、連年続いた定員削減から脱却したものの、第一線職場の体制は業務量に比していまだ脆弱であり、一層の体制確保が求められる。

他方、消費者物価の急騰が続くとともに終息の兆しがなく、生計費水準が高止まりする恐れもある中、公務・民間ともに物価高騰に見合う大幅賃上げが必要である。政府は賃金引上げを最重要政策として掲げているが、公務職場から賃金引上げを行ってこそ、全体の賃金水準の底上げが図られる。

このほか、地方労働局のあるべき人事制度への見直し、雇用政策の充実、定年延長をはじめとする高齢期雇用、新たな人事評価制度など課題は山積している。

全労働は組合員とその家族の切実な要求に基づき、労働者・国民のための民主的な労働行政確立と自らの労働条件改善を強く求め、2023 年夏季統一要求書等を提出するので、使用者としての責任と自覚に基づき、各々の要求事項について誠実な対応を要望する。

（当局）

提出された要求書等の各要求事項については、内容を検討の上、誠実に対応したい。